【 出願様式 1 】　　○押印については自筆署名の場合は不要

⑮願書確認者　署名・捺印	氏名　　㊞

公益財団法人　ニビキ育英会　奨　学　生　願　書　（大学進学・給付奨学生）

フリガナ ①氏　名	氏	名	②性別	③在学校名	国・県・私立・市・公　学校　科
生年月日	平成　　年　　月　　日				

④現住所　〒　　－ 福岡県		⑤所属していた部など	
TEL(1)　　－　　－　（自宅・母携帯・本人携帯・その他）		TEL(2)　　－　　－　（自宅・母携帯・本人携帯・その他）	

⑥母子家庭となった時期および原因	昭和・平成・令和　　年　　月　（死別　離婚　その他）　＊施設入居者の場合は記入不要
⑦修学および将来についての目標	

⑧進学校名	大学　　学部		決定（総合型選抜・推薦・共通ﾃｽﾄ・　年次編入）、受験（第一志望）		
⑨他の奨学金受給について（該当を○）	有・無	該当有の場合その内容	(名称)	貸与型・給付型	決定・申請中・申請予定
			(名称)	貸与型・給付型	決定・申請中・申請予定

⑩生計を一にする家族および所得

母親氏名：　　年齢：　　扶養家族数：

収入の種類・金額				「その他」の空欄以外の全ての有・無どちらかを○で囲む 公的収入を申請中の場合は、金額欄に「申請中」と記入	⇒金額は年額を記入⇒
	給与収入		有・無		千円
公的年金	遺族年金		有・無		千円
	障害者年金		有・無		千円
事業収入			有・無		千円
公的収入	児童扶養手当		有・無		千円
	特別児童扶養手当		有・無		千円
	児童手当		有・無		千円
	生活扶助料		有・無		千円
その他	養育費（継続・一時金）		有・無		千円
	（　　）		有		千円

母親および就学者以外の家族	続柄	氏　名	年齢	収入の種類・金額	
					千円
					千円
					千円

出願者本人以外の就学中の家族	続柄	氏　名	年齢	在　学　校　名	学年
				立	
				立	
				立	
				立	

※ 弊会使用欄(記入不可)

⑪長期療養者がいる場合

その氏名	
就床期間	
治癒の見込み等について	

⑫本人および兄弟姉妹で当育英会奨学金受給者：　兄・姉・弟・妹・本人

⑬家庭事情

（奨学金の給付を希望するに至った家庭の事情）

⑭以上のとおり記載事項に相違ありません。貴会の奨学生として採用して頂きたくお願いします。

公益財団法人　ニビキ育英会　理事長　小　倉　桂　子　様　　令和　　年　　月　　日

本人氏名	保証人氏名(保証人本人自著)　　(本人との続柄　　)
	現住所　〒　　－

○保証人の住所は④と同一の場合、記入不要

育英会　受付　　月　　日　No.＿＿＿＿＿＿

「奨学生願書（出願様式１）の記入要領」

● この「記入要領」をよく読んで間違いのないように記入してください。

● 願書は、原則 出願者本人（奨学金の給付を受ける生徒本人）が記入してください。
※ ⑬「家庭事情」欄は、保護者の記入を認めます。
※ ⑭「保証人氏名」欄は保証人本人が署名してください。
※ 黒のボールペンを使って記入し、消せるボールペンや時間の経過により字が消えるボールペンは使用しないでください。

● **⑦「修学および将来についての目標」欄と⑬「家庭事情」欄の内容は、選考に際し重要な判断要素となりますので、丁寧に出来うる限り詳しく記入してください。**

● 訂正箇所が生じた場合は二重線を引き（赤でも黒でも可）、訂正印を押印して正しい情報を記入してください。
簡単な誤字の訂正等であれば、願書確認者（願書⑮欄で署名した確認者）の訂正を認めます。
（願書確認者の押印必須）

①（氏　　名）欄

氏名は本名（住民票に記載の氏名）を記入し、フリガナをつけてください。
学校では住民票に記載の姓と異なる姓を名乗っていても、住民票に記載の姓を記入してください。
なお、当会からの通知文書などをどちらの姓で送ったらよいのかメモ等に記して願書と一緒に必ず提出してください。

②（性　　別）欄

出願者の自認する性別を記入してください。

③（在学校名）欄

県立・市立・私立などは〇で囲んでください。
学校名や「科」は、名称を省略せず正確に記入してください。

④（現 住 所）欄

郵便番号を必ず記入し、住所はマンション名なども省略せず正確に記入してください。
電話番号は、問い合わせが出来る番号を市外局番から２名分記入してください。
自宅、本人携帯、母携帯以外の場合は「その他」の欄に誰の電話番号なのかを必ず記入してください。
（例：“祖母携帯”など）
１名分のみの場合は、TEL(1)欄に記入後、TEL(2)欄には“なし”と必ず記入してください。

【 施設入居者の場合 】入居している施設の住所を記入してください。
電話番号は施設の電話番号か、お持ちであればご自分の携帯電話の番号を記入してください。

⑤（所属していた部など）欄

高校または高専で、所属していた部活動について記入してください。

⑥（母子家庭となった時期および原因）欄

母子家庭となった時期を記入し、その原因について「死別」「離婚」「その他」のいずれかを〇で囲んでください。

⑦（修学および将来についての目標）欄

勉学や職業の希望など、これからの目標を具体的に記入してください。
選考に際し重要な判断要素となりますので、必ず丁寧に詳しく記入してください。

⑧（進学校名）欄

進学が決定している大学名（部）、または第一志望の大学名（部）を記入してください。
進学先が決定している人は「総合型選抜」「推薦」「共通テスト（共通テスト利用入試）」「＿年次編入」の該当する箇所に〇を（編入学の場合は何年次編入かも記入）、一般選抜者は「受験（第一志望）」を〇で囲んでください。

⑨（他の奨学金受給について）欄

大学入学後の奨学金の受給に関して、「有・無」いずれかを〇で囲んでください。
「有」の場合は、［奨学金の支給先の名称］を記入し、［貸与型・給付型］［決定・申請中・申請予定］の該当する箇所を〇で囲んでください。

他の奨学金の併願・併給に関して

返済義務のない給付型奨学金は、一切併給を認めておりません。

給付型奨学金に関しましては、民間・国や自治体などを問わず当会との併給はできません。
各大学内の奨学金についての制度とも原則 併給はできませんが、学校独自の特待生制度等に関しましては当会にご相談ください。

貸与型奨学金との併給は認めておりますが、貸与型奨学金を支給している団体には、他奨学金との重複受給に制約を設けている場合がございます。必ず該当者は各自で貸与元にご確認をお願いいたします。

併願は、貸与型・給付型を問わず可能です。

ただし、複数の**給付型奨学金**に内定した場合には、大学に合格後、採用手続きの段階でいずれかを選択していただきます。
当会に内定後、他の給付型奨学金を併願中の間は給付を保留し、当会を選択された時点で奨学金を支給いたします。
また、当会の奨学金を給付後に他の給付型奨学財団等の奨学生となることを選択された場合には、当会から支給された奨学金は返納していただきます。

学費（授業料）減免については制約を設けておりません。当会の奨学金と併給は可能です。

⑩（生計を一にする家族および所得）欄

⑴ 生計を一にしている人は、住民票上の同居別居にかかわらず実態として出願者本人(生徒)と生計を同じくしている人について全て記入してください。
就学等のため別居していても、生計が同じであれば記入が必要です。

（ 例：兄が県外の学生で一人暮らしだが、母親が生活費を仕送りしているなど ）

⑵ 別居独立の生計を営む兄姉や生計を一にしない別居の祖父母等、並びに死亡または生別した者は記入する必要はありません。

⑶ **「続柄」**は出願者本人から見た関係を記入してください。

⑷ **「年齢」**は出願時現在で記入してください。

⑸ **「出願者本人以外の就学中の家族」欄**には本人のほかに、兄弟姉妹の中で小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・大学・各種学校のいずれかに在学している人(予備校生含む)がいれば記入し、公立・私立の別も記入してください。幼稚園児は**「母親および就学者以外の家族」欄**に記入してください。

⑹ **「収入の種類・金額」欄**は、全ての「有・無」の該当するどちらかを○で囲み、「有」の場合は金額も記入してください。（「その他」欄の空欄除く）
金額は月額ではなく、**年額**（一年間に受け取った金額）を記入してください。

⑺ 収入の種類は、給与収入、事業収入、公的年金、公的収入、その他の区別で該当するものを記入し、収入を証明する添付書類が必要であれば併せて提出をしてください。

収入の種類	摘　　要
給　　与	給与、賞与、賃金、専従者給与並びにこれらの性質を有するもの。
公的年金	遺族年金、老齢年金、障害者年金など。
事業収入	商工業・農漁業などの事業から生じる収入。
公的収入	児童手当・児童扶養手当、生活保護法による扶助料など。
そ　の　他	利子・配当・家賃・養育費・親戚や知人の援助など。

【 給与収入 】

⑴ **所得証明書**
⑵ **市県民税（所得・課税）証明書**（収入金額または所得金額が明記されているもの、課税額のみは不可）

上記⑴または⑵のいずれかは、どのような経済状況に関わらず該当者全員が必ず提出してください。

＊ **コピー不可**

＊ **令和４年度版のもの**（令和３年度の所得を証明する内容）

「給与収入計算書」（様式３）、**「年収見込証明書」**（様式４）の各様式は、
当会ホームページ（ **https://nibiki-ikueikai.or.jp/** ）からダウンロードして使用してください。

出願時の収入状況		収入を証明する書類	願書に記入する金額
現在給与収入がある	令和３年度の収入(=令和４年度版所得証明書に記載の年収額) と現在の年収額に大幅な変動がない	⑴ **所得証明書** ⑵ **市県民税（所得・課税）証明書** ⑴または⑵のいずれかを提出 ⚠**注意①参照**	**所得証明書** または **市県民税（所得・課税）証明書**の**給与収入額** ＊所得額ではなく収入額を記入
	令和４年１月１日以降に転職等していないが、令和３年度の収入(=令和４年度版所得証明書に記載の年収額) と現在の収入に大幅な変動がある （例：勤務日数減少による減給、昇進による昇給など）	⑴ **所得証明書** ⑵ **市県民税（所得・課税）証明書** ⑶ 勤務先の**直近３ヶ月以上の給与明細書のコピー** および **「給与収入計算書」**（様式３） ⚠**注意②参照** ⑷ **「年収見込証明書」**（様式４） ⑴または⑵のいずれか、および⑶または⑷のいずれかを併せて提出	**「給与収入計算書」**の**年額** または **「年収見込証明書」**の**総支給額**
	令和４年１月１日以降に就職・転職し、令和３年度の収入(=令和４年度版所得証明書に記載の年収額) と現在の収入に大幅な変動がある		
	令和４年１月１日以降に休職期間があるが、現在は復職し就労している		
	就職・転職したばかりで給与はまだ支給されていないが、令和３年度の収入(=令和４年度版所得証明書に記載の年収額) と現在の収入が大幅に変動する予定	⑴ **所得証明書** ⑵ **市県民税（所得・課税）証明書** ⑶ **「年収見込証明書」**（様式４） ⑴または⑵のいずれか、および⑶を併せて提出	**「年収見込証明書」**の**総支給額**

■ 同一人で同じ「収入の種類」の収入が複数ある場合は、合算して記入してください。

■ 千円未満の端数は切り捨てて記入してください。（例： 2,999,999 円なら “ 2,999 ” と記入）

■ 社会人の子や給与所得者の祖父母などと生計を一にしている場合は、それらの人の所得証明書も提出してください。

■ 自立援助ホームの入居者で給与収入がある人は、**所得証明書**を提出してください。

【 事業収入・生活保護・無職 】

⑴ **所得証明書**
⑵ **市県民税（所得・課税）証明書**（収入金額または所得金額が明記されているもの、課税額のみは不可）

上記⑴または⑵のいずれかは、どのような経済状況に関わらず該当者全員が必ず提出してください。

＊ **コピー不可**

＊ **令和４年度版のもの**（令和３年度の所得を証明する内容）

「給与収入計算書」（様式３）、**「年収見込証明書」**（様式４）、**「事業収入申告書（証明）」**（様式５）の各様式は、当会ホームページ（ **https://nibiki-ikueikai.or.jp/** ）からダウンロードして使用してください。

出願時の収入状況		収入を証明する書類	願書に記入する金額
現在事業収入がある（自営業など）	令和３年の収入（=令和４年度版所得証明書に記載の事業所得額、不動産所得額など）と現在の所得額に大幅な変動がない	⑴ **所得証明書** ⑵ **市県民税（所得・課税）証明書** ⑴または⑵のいずれかを提出 ⚠**注意①参照**	**所得証明書**の〔**合計所得金額**〕 または 〔**総所得金額**〕、〔**総所得金額等**〕
	令和３年の収入（=令和４年度版所得証明書に記載の事業所得額、不動産所得額など）と現在の所得額に大幅な変動がある	⑴ **所得証明書** ⑵ **市県民税（所得・課税）証明書** ⑶ **「事業収入申告書（証明）」**（様式５） および **直近３か月分の帳簿のコピー** ⑴または⑵のいずれか、および⑶を併せて提出 ⚠**注意③参照**	**「事業収入申告書（証明）」**の**年額**
	令和４年１月１日以降に開業 ＊個人事業主ではなく法人経営としている場合は給与収入の項目参照		
生活保護を受けている	令和４年１月１日以降に生活保護による保護費を受給している	⑴ **所得証明書** ⑵ **市県民税（所得・課税）証明書** ⑶ **直近１年（令和４年１月～12月）に受け取った扶助料がわかる生活保護決定通知書のコピー** ＊通知書が手元にない場合は**下記■参照** ⑴または⑵のいずれか、および⑶を併せて提出	**決定通知書**に記載の**扶助料の合計** （令和４年１月～12月に受け取った扶助料の合計金額）
現在無職	令和４年１月１日以降に退職、廃業、休職などで現在に至るまで無職	⑴ **所得証明書** ⑵ **市県民税（所得・課税）証明書** ⑴または⑵のいずれかを提出 ⚠**注意①参照**	願書の給与収入・事業収入の「無」を○で囲む ＊無職であっても利子・配当金・家賃収入や他者からの援助金、養育費等があれば「その他」欄に記入してください（添付書類は不要）

■ 同一人で同じ「収入の種類」の収入が複数ある場合は、合算して記入してください。

■ 千円未満の端数は切り捨てて記入してください。（例： 2,999,999円なら“ 2,999 ”と記入）

■ 通知書を紛失された場合は、扶助料の振込がわかる箇所の通帳コピーを提出してください。（必要のない箇所はマジックなどで黒塗りしてください）

【 その他 】

出願時の状況	収入を証明する書類	願書に記入する金額	備考
年金受給者 がいる	⑴ **年金振込通知書のコピー** ⑵ **年金額改定通知書のコピー** ⑴または⑵のいずれかを提出 ＊入手できる最新のものを提出	通知書に記載の金額の合計 ＊令和４年１月～12 月に受け取った年金の合計金額	＊生計を一にしている家族に年金受給者がいる場合のみ提出 ＊同居はしているが生計を別にしている年金受給者の祖父母がいる場合は、添付不要 ＊世帯を別にしている（生計を一にしていない）年金受給者の祖父母から援助を受けている場合、添付書類は不要ですが、「その他」欄に「祖父母からの援助」と記入し令和４年１月～12 月に受け取った合計金額（年額）を記入してください
児童手当 **児童扶養手当** **特別児童扶養手当** を受けている	**証書のコピー** **額改定通遺書のコピー** **支払通知書のコピー** **支給証明書のコピー** など、いずれか１点を提出 ＊入手できる最新のものを提出 ＊通知書や証書が手元にない場合は **下記■参照**	通知書等に記載の 令和４年４月～令和５年３月に 支給を受ける・受けた合計金額 ＊受けとる前の金額は推算して記入	＊申請中の場合は願書の金額欄に必ず「申請中」と記入し、受給していない場合は必ず「無」に○をしてください ＊出願者本人だけでなく本人以外の兄弟姉妹も受け取っている場合は、すべてを合算した年間の総額を記入してください
養育費 を受けている	**提出の必要なし**	令和４年１月～12 月に 受け取った金額（年額）	＊複数に渡って受け取っている場合は、必ず合計金額(年額)を記入してください(月額ではありません) ＊出願者本人だけでなく本人以外の兄弟姉妹も受け取っている場合は、すべてを合算した年間の総額を記入してください
祖父母などから **援助金**や上記以外の**手当**などを受け取っている	**提出の必要なし** ＊祖父母が年金受給者で生計を一にしている場合は、 上記**「年金受給者がいる」欄を参照**	令和４年１月～12 月に 受け取った金額（年額）	＊保険の解約金、死亡保険金、公共職業訓練や求職者支援訓練の支給手当、生活困窮者への一時金などは収入に含めないため記入不要です

■ 千円未満の端数は切り捨てて記入してください。（例： 2,999,999 円なら“ 2,999 ”と記入）

■ 一時金以外は、全て月額ではなく**年額**を記入してください。

■ 通知書等を紛失された場合やペーパーレス化で紙媒体での発行がなかった場合は、再発行や内容が証明できるものが発行してもらえないかまずは各発行元に問合せをしてください。
再発行等が提出締め切りまでに間に合わない場合は、手当の振込がわかる箇所の通帳コピーを提出してください。
（必要のない箇所はマジックなどで黒塗りしてください）

⚠ 注 意 ① ：

所得証明書と**市県民税（所得・課税）証明書**は、必ず**“ 令和４年度版 （内容は令和３年度の所得)”**を提出してください。

■ 市によって異なりますが、各証明書には「令和〇年度」と、証明する年度が記載されています。
証明されるのはこの年度の**前年の所得**であるという点に注意してください。

例えば、「令和４年度（2022 年)」の証明書の場合は、前年の令和３年（2021 年）の所得が証明されます。

※ 年度違いの所得証明書を提出される人が大変多くいらっしゃいます。再提出となりますので、ご注意ください。

⚠ 注 意 ② ：

■ 申込時点で就労している勤務先の**給与明細書のコピー**（直近３か月分）と**「給与収入計算書」**（様式 3)、または勤務先が発行する**「年収見込証明書」**を提出してください。
なお、様式は**「年収見込証明書」**（様式 4）もしくは勤務先に所定のものがあればそちらを使用していただいて構いません。

■ 申込時点ですでに退職している勤務先の収入については、証明書類の添付は不要です。
現在の勤務先の給与明細書のコピーのみ添付してください。

例：A社を令和４年 11 月に退職。令和４年 12 月からB社に入社。
→B社の 12 月の給与明細書のコピーと、１ヵ月分をもとに作成した**「給与収入計算書」**（様式 3）を提出

■ 就職・転職したばかりで新しい勤務先からまだ給与の支給がされていないなどの理由で給与明細書のコピーを提出できない場合には、勤務先が発行する**「年収見込証明書」**を提出してください。
なお、様式は**「年収見込証明書」**（様式 4）もしくは勤務先に所定のものがあればそちらを使用していただいて構いません。
※ 様式３は使用しないでください。

■ 就職して３ヶ月に満たない場合は、**１ヵ月分もしくは２ヵ月分の給与明細書のコピー**を添付かつ１ヵ月分もしくは２ヵ月分をもとに作成した**「給与収入計算書」**（様式 3）を提出してください。

■ 掛け持ちしているなどの理由で勤務先が複数ある場合は、すべて同一月のものを提出してください。

例：現在 ６月でA社、B社の２社に勤務中。A社の給与明細が２月分、３月分、４月分で、B社の給与明細が３月分、４月分、５月分の場合は不備となります。どちらも３月分、４月分、５月分を提出してください。

■ 給与収入もあり、かつ営業所得など給与所得以外の所得を含む場合は、**〔合計所得金額〕**または**〔総所得金額〕〔総所得金額等〕**を審査の対象とします。 ※「課税総所得金額」は審査対象ではありませんのでご注意ください。

例： 給与収入金額 42 万 1,231 円
営業等所得 －36 万 5,000 円
合計所得金額０円

上記の場合は、「合計所得金額」の０円が審査の対象となります。
願書には、給与収入金額と営業等所得金額をそれぞれ記入してください。

■ **「給与収入計算書」（様式 3）**での年額の算出は、社会保険料等が控除された振込額ではなく、総支給額（支払総額）で算出してください。
ただし、総支給額（支払総額）に非課税分（交通費等）が含まれている場合は、総支給額（支払総額）から除いて算出してください。

⚠ 注 意 ③ ：

■ 今年に入り母親が自営業を始めたためまだ税の申告をしていないなど、開業したばかりで収入が確定していない場合は、**「事業収入申告書(証明)」（様式 5）**および **帳簿のコピー（直近 3 か月分）**を提出してください。
開業してから 3 ヶ月に満たない場合は、開業した日以降の分で構いません。
帳簿のコピー（直近 3 ヶ月）は〔**売上総額**〕と〔**経費総額**〕が記載されているものを提出してください。

■ 母が最近個人事業を開始し自営業ではなく**法人**となる場合（＝**法人経営**として給与所得がある場合）は、源泉徴収票ではなく**「給与収入計算書」（様式 3）**および**給与明細書のコピー（直近 3 か月分）**、または会社が発行する**年収見込証明書**を提出してください。

※ **年収見込証明書**の様式は**出願様式 4** のほか、様式 4 と同様の内容が記載されている**勤務先が作成した様式**を使用しても構いません。

⑪（長期療養者等がいる場合）欄

⑩の「生計を一にする家族および所得」の中に障害者や長期療養者がいる場合は、その氏名並びに病床についている期間や、その他差支えない程度に病名、治癒の見込みを記入してください。

(1)障害者とは、障害者手帳を交付されている者に限ります。（障害者手帳のコピー等は提出不要です）

(2)長期療養者とは、出願時現在において６ヶ月以上にわたる期間療養中の者または６ヶ月以上療養が必要と認められる者に限ります。

⑫（本人および兄弟姉妹で当育英会奨学金受給者）欄

現在および過去において、兄・弟・姉・妹および本人が当育英会の奨学生であった者または現在、奨学生である者は該当箇所を〇で囲んでください。

⑬（家庭事情）欄

奨学金の給付を希望するに至った事情や奨学金の主な使途、他の欄で記載できなかった事柄について、可能な限り具体的に記入してください。
欄に入りきらない場合は、別の用紙(A4 サイズであれば様式の指定なし)に記入し提出していただいても構いません。

⑭（署　　名）欄

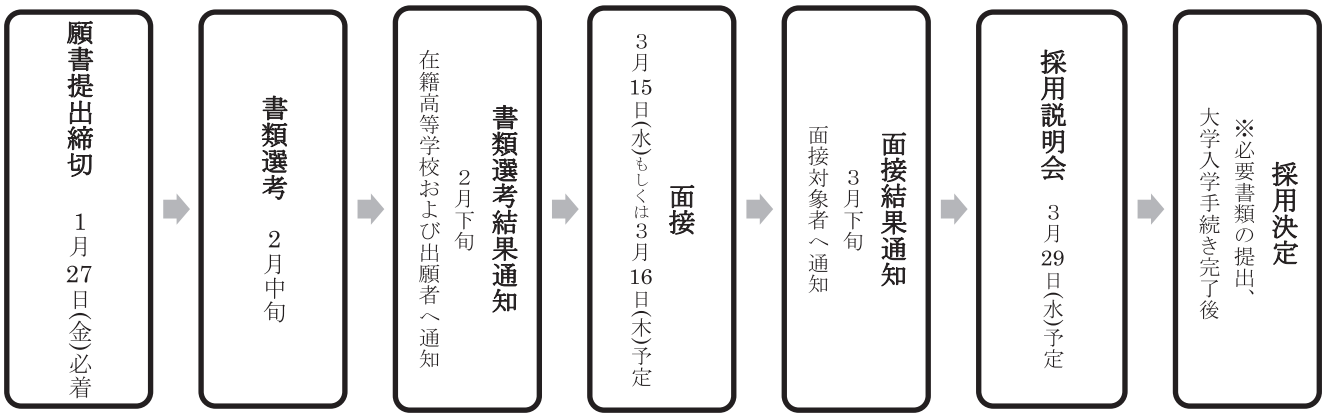
署名日は、学校へ提出する日付を記入してください。「保証人」は母か生計を別にする兄姉もしくは、祖父母、叔父、叔母など未成年者でない人を選定し、氏名は必ずその人の自署にしてください。（押印不要）
同居している母が保証人の場合は、現住所の記入は不要です。

⑮（願書確認者　署名・捺印）欄

担当教諭もしくは事務担当者が奨学生願書の記載内容（所得の種類・金額・家族構成・長期療養者の有無）について確認の上、署名・捺印してください。自筆署名の場合、押印は不要です。
なお、当会からの問い合わせは、願書確認者にさせていただきます。

（注）不明な点は、学校を通じて「ニビキ育英会・事務局」にお問い合わせください。

● 申し込みから採用までの流れ ●



【 出願様式 2 】　　○押印については自筆署名の場合は不要

公益財団法人　ニビキ育英会　**奨学生推薦調書**（大学進学者用）

調書作成者　氏名　　㊞

（学校名）　国 県 市 公 私　立　　学 校　　科　第　　学年

（氏　名）

（推薦所見）

上記の者は貴会の奨学生として適格と認め推薦します。

令和　　年　　月　　日

公益財団法人　ニビキ育英会　理事長　小　倉　桂　子　様

学校名

校　長

職　　印

（注）学習成績は成績証明書（５段階評価の最新のもの）により選考基準に照らし判定しますが、所見欄に可能な限り文章記述してください。人物評、将来性等もあわせ記述してください。

育英会　受付　　月　　日　　No.

出 願 書 類　提出チェックシート

※ 提出不要（確認のために活用してください）

全　員

書類名	確認事項	ﾁｪｯｸ
願　　書	黒の消えないボールペンで記入していますか。	□
	記入漏れはないですか。	□
	収入欄において「有」に〇をしている場合、金額（年額）も記入していますか。	□
住　民　票	生計を一にする世帯全員のもので、記載省略がされていないもの（本籍・住民コード・個人番号は省略可）、かつ発行日より３ヶ月以内のものが添付されていますか。（コピー不可） ※ 施設入居者、およびＤＶ被害で住民票と異なる住所に現在一時避難している人は住民票と以下のものを提出。 施設入居者：施設に在籍している証明書（施設の住所、入居年月日が記載されたもの） ＤＶ避難者：弁護士や民生委員等に作成してもらった文書（母親が福岡県を生活の本拠地としているが一時避難していること、および避難先の住所が記載されたもの）	□
推　薦　調　書	学校印が押されていますか。	□
成　績　証　明　書	最終学年２学期の５段階評価のもので、調査書ではなく成績証明書が提出されていますか。	□
所　得　証　明　書	令和４年度版（内容は令和３年度の所得内容）を添付していますか。 ※ **市県民税（所得・課税）証明書**（収入金額または所得金額が明記されているもの、課税額のみは不可）でも可。 ※ 再提出とならないよう、年度違いの証明書でないか必ず確認してください。	□

該当者のみ

書類名	確認事項	ﾁｪｯｸ
給与収入計算書	給与明細書のコピー（直近３ヶ月分）も添付されていますか。	□
年収見込証明書	勤務先から発行されたものですか。	□
事業収入申告書（証明）	帳簿のコピー（直近３ヶ月分）も添付されていますか。	□
年金振込通知書 **年金額改定通知書**	通知書や証書のコピーが添付されていますか。	□
児　童　手　当 **児童扶養手当** **特別児童扶養手当** **などの通知書・証書**	通知者や証書のコピーまたは通帳コピーが添付されていますか。	□
	申請中の人は金額欄に「申請中」と記入していますか。	□
	全く受け取っておらず申請もしていない場合、「無」に〇がされていますか。 ※ 無記入の場合、受取の状況を学校へ確認する場合がございます。	□
生活保護決定通知書	直近１年（令和４年１月～12月）に受け取った扶助料がわかる**生活保護決定通知書のコピー**が全て添付され、願書には受け取った合計額が記入されていますか。 ※ 紛失の場合は、通帳コピーを添付。 また、所得証明書も一緒に提出されていますか。	□
その他	確認事項	ﾁｪｯｸ
養　育　費	「有」の場合、継続もしくは一時金どちらかに〇がされ金額（年額）も記入されていますか。	□
援助金など	祖父母や知人からの援助金や、株の配当金などを受けている場合は「その他」欄の空欄に記入されていますか。 また、金額（年額）も記入されていますか。	□